

月刊 まつなみ

発行2010年5月1日



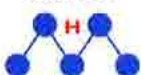
入社式 訓示 理事長 松波 英寿



2010
No.127

5
May

●発行●



松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1
TEL.058-388-0111(代)

社会医療法人 蘇西厚生会
理 念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様へ、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基本方針

私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

目 次

- 入社式訓示 理事長 松波 英寿
歓迎会でのメッセージ 名誉院長 松波 英一
新任医師紹介
- 早期発見・早期治療のために
人間ドックからのお知らせ
新任医師紹介
- 西5階病棟の紹介
お知らせ

入社式訓示

社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

理事長 松波 英寿



松波総合病院は4月1日午前9時から3階講堂で入社式を開いた。新入職員は73名。緊張した面持ちで松波英寿理事長のあいさつに聞き入っていた。

世の中が大きく変化する厳しい環境の今こそ先輩の皆さんを見習って立派な社会人になって欲しい。社会人は学生と違い自からその道を切り開いていかねばならない。

常に明るい笑顔で丁寧な対応を心がけ、自己研鑽に勤め、親切な心を持って仕事を進める力を、早く体得して実践されることを期待している。頑張ってください。

歓迎会でのメッセージ



名誉院長 松波 英一



- 1、当松波総合病院は、1933年（昭和8年）4月8日開業、医療人は究極のサービス業である。私たちのモットーである救急医療は、いつでも、どこでも、誰でもが最良の医療が受けられるよう献身的な努力を重ねることだ。
- 2、激動する経営環境の中、現場が大切であり現場主義に徹したい、それには何気ない患者様のクレームや、現場の意見が上司に伝わるのが大切である。大事なことは変化を敏感に察知し、迅速に対応していくことだ。
- 3、地域を大切にする。地域の皆様から感謝される評判のよい病院経営が大切である。人生はまさしくシアター（劇場）である。心からにじみでた対応が必要である。

平成22年4月着任した新任医師



氏名：市古 哲
部署：産婦人科
副部長

経歴 平成 2年5月 岐阜大学医学部付属病院医員
平成 3年7月 県立下呂温泉病院
平成 4年5月 東海中央病院
平成 9年4月 郡上市民病院
平成17年4月 羽島市民病院
平成20年4月 岐阜大学医学部付属病院

趣味 温泉旅行
抱負 これまでの経験を生かし地域の医療に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願いします。



氏名：佐々木智浩
部署：整形外科
副部長

経歴 平成 9年3月 日本大学医学部医学科卒業
5月 日本大学医学部附属駿河台病院
救命救急センター
平成10年7月 岐阜大学医学部付属病院整形外科
平成11年4月 松波総合病院整形外科
平成13年4月 岐阜大学医学部医学研究科
平成17年4月 財団法人豊郷病院整形外科医長
平成19年4月 彦根市立病院整形外科医長

趣味 野球など、スポーツ全般
抱負 リウマチ性疾患、脊椎疾患、外傷を中心に、地域の皆様に貢献できるよう頑張っていきますのでよろしくお願いたします。



氏名：武井 教恵
部署：内科 医員

早期発見・早期治療のために 人間ドックからのお知らせ

第二消化器内科部長 伊藤 康文



胃がんの危険度が2つの血液検査でわかります

現在ではピロリ菌による萎縮性胃炎と胃がんとの密接な関連性が知られています。また世界保健機構はピロリ菌をたばこと同じ程度の発がん原因としています。そこで最近、わが国で提案された「胃癌リスク検診」が注目されています。1)「血清ピロリ菌抗体」でピロリ菌感染の有無を、2)胃酸分泌と相関する「血清ペプシノゲン値」で萎縮性胃炎を診断し、この2つの血液検査だけで両者の値から「将来胃がんになりやすいかどうか」を判定するものです。たとえばこれらの血液検査が両者ともに陰性の場合、胃がんになる確率はほぼゼロに近いのです。そのような方は毎年一律のバリウムによるX線検診は必要ありません。



上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)



眼底検査



画像診断

もちろん胃がんの確定診断には内視鏡検査が必要不可欠ですが、この方法で胃がんの危険群の方をあらかじめしほりこむことによりその後の検査の精度を上げることが可能です。従来から使われてきた血液の腫瘍マーカーは通常、進行がんの場合や転移がないと上がりません。当院ドックでは近々希望の方を対象にこの2つの血液検査を新たに導入いたします(ただしすでにピロリ菌除菌治療に成功した方はこの血液検査の検診対象からはずれません)。関心のある方は、どうぞ御遠慮なくお気軽に人間ドック担当の医師、スタッフまでお問い合わせ下さい。

経歴 平成13年3月 名古屋市立大学卒業
5月 松波総合病院 内科研修医
平成14年4月 名古屋市立大学 医学研究科
平成21年2月 大垣徳州会病院内科

趣味 読書・ピアノ

皆様に安心して受診していただけるよう頑張ります。宜しくお願いします。



氏名：山田 梨絵
部署：内科 医員

経歴 平成16年3月 岐阜大学医学部卒業
5月 高山赤十字病院で初期研修
平成18年4月 国保旭中央病院で内科後期研修
平成20年4月 岐阜県総合医療センター
総合内科レジデント
平成21年4月 同 糖尿病内分泌内科・総合内科・
メタボリックセンター・
感染症制御部医員

趣味 ドライブ・買い物・読書
抱負 内科医として成長し、より良い医療を提供できるよう頑張りたいと思います。



氏名：佐方 信夫
部署：内科 医員

経歴 平成16年3月 神戸大学医学部卒業
4月 手稲浜仁会病院にて臨床研修
平成18年4月 厚生労働省 入省

趣味 写真

抱負 地域の皆様のお役に立てるように頑張ります。

西5階病棟の紹介

看護師長 安江 三枝子

西5階病棟は、脳卒中部門であり、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中急性期および慢性期の患者様に対し、チーム医療に基づいた標準的治療と看護を提供することで、死亡率の低下とADLの向上を目指し、最終的に社会復帰・家庭復帰を目的とする病棟です。



平成20年から、部門長に澤田医師を迎え、

血管内手術、内頸動脈ステント留置術、内頸動脈剥離術などの手術も増加しました。検査としても、DSA・MRI、CTスキャン・頸動脈エコー・心エコー・PETなども多くなってきました。検査・手術の不安に対して、理解・納得していただく為に、受持ち看護師を中心に、やさしくまた丁寧に看護する事を大切にしています。

疾患によっては、大きな後遺症を残す場合があります。医師・看護師はじめ薬剤師、栄養士、理学療法士、ST・作業療法士・ケースワーカーなどチーム医療として患者を支える努力をしています。看護師は、知識・技術・瞬時の観察判断能力を持ち、日々、患者様と向き合い細やかな配慮と心配り、心身に充実した看護ケアを目指し、いつも笑顔での丁寧な対応が提供できるように心がけるよう努力しています。

平成22年4月からは、脳神経外科入院患者様を対象に、本人の同意の基でメディカカード（キャッシュカード並み）の配布をしております。

このカードの中には既往歴が網羅されており、救急対応を迅速に行うことが可能となります。

5月

お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎基礎コース…12日(木)、19日(木)、26日(木)、6月2日(木) 3階講堂にて 午後2時～4時

◎春の特別講演… 8日(土) 3階講堂にて 午後2時～4時

◎毎週金曜日、5階病棟デイルームにて 午後1時～2時 (基礎コース開催時は、5階教室は開催されませんのでご了承ください)

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院

名鉄竹鼻線 15分 徒歩 10分

タクシー 20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院

名鉄電車羽島行 10分 徒歩 10分

タクシー 20分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院

名鉄電車急行 25分 徒歩 15分

